ある町の天気相談所

Vol.29
2020.5. 1

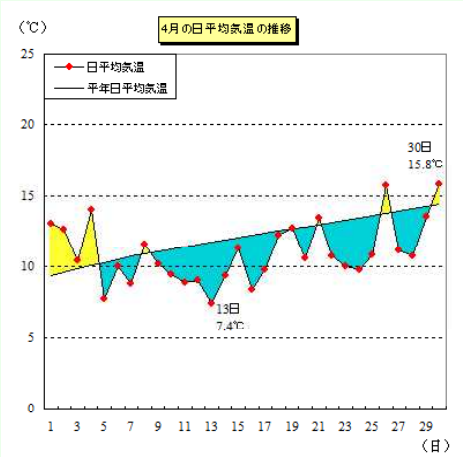
令和２年5月号

芝桜

市役所庁舎敷に芝桜が植えられています。今年はソメイヨシノが咲き始めた頃から見頃になり、４月下旬まで続いていました。川沿いに絨毯が広がっているようでした。

4月の気候

4月の月平均気温は11・0度と、4月としては低い方から8位の記録となり、今年初めて月の平均気温が、平年より低くなりました。月のはじめは平年より高い気温となりましたが、その後は、寒気に覆われる日が多くなり、平年より低い日が続きました。天気は周期的に変わり、月合計の降水量は１５６・５ミリと平年より多く、日照時間も２１６・４時間と平年より多くなりました。



1カ月予報（気象庁発表）

5月は、数日の周期で天気が変わりますが、はじめは平年より晴れの日が少ない予想です。上旬の気温は「高い」、その後は「平年並みか高い」、降水量、日照時間はともに「ほぼ平年並」の予想です。

4月のお天気解説

寒冷渦による雨

4月13日と18日に、警報が発表されるほど発達した低気圧が通過しました。13日は、台風のような暴風が吹き、18日は、短い時間でしたが激しい雨が降りました。今回の2回とも、上層に強い寒気を伴った低気圧（寒冷渦）の影響でした。

普段から、上層の風は南北に蛇行しており、その蛇行が西から東へ移動していきます。そのため、私たちの上空には寒気や暖気が交互に流れ込んできます。この蛇行が大きくなると、寒気が切り離されてしまうことがあり、これを寒冷渦といいます。

寒冷渦は、名前の通り、寒気を伴っており、「大気の状態が不安定」、「移動する速度がゆっくり」という特徴があります。そのため、激しい現象が起こりやすく、影響も長引く傾向があります。寒冷渦は通過する位置や、気圧配置によって、今回の風と雨の違いのように、影響が異なることもあります。「寒冷渦」や「上層に寒気を伴う」という言葉が天気予報で聞かれた場合は注意が必要です。

天気用語の基礎知識

○年に一度の雨

希にしか起こらない極端な現象がどれほどの強さなのかを、頻度の表現で表した言い方です。大雨などを30年や１００年観測した結果から統計的に推計したものであり、数値は場所ごとに異なります。いろいろな計算方法があり、気象庁では確率降水量といっています。なお、日立での50年に一度の確率降水量は24時間で２８５ミリです。統計的に計算しているため、観測期間の長短でも変わります。

……神峰の山から……

市役所本庁舎の敷地内にはいろいろな種類のさくらが植えられています。冬の終わりから咲き始める、日立紅寒から、ソメイヨシノの時期にかけて少し時期がズレながら咲いていました。まだ、植えたばかりなため、開花の時期は、年によって変わってくるかと思いますが、長い間さくらが楽しめるのかなと、楽しみにしています。芝桜も去年は植えたばかりだったため、広がりがもう少しでしたが、今年は生長が進み、きれいに広がりました。

早い物は秋口から咲いているものもありました。どのように咲いていくものなのかこちらも楽しみです。